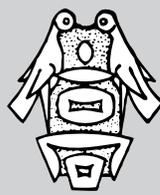




第29号

東京鳩会

題字は初代会長笠井正人氏



会報

長野県屋代高等学校
発行：東京鳩会事務局

会長挨拶

会長 重見憲明
(高校十七回生)



東京鳩会会員の皆様におかれましては、お元気でご活躍の事と存じます。

平素は同窓会活動に對しまして暖かい、ご理解、ご支援を賜り心から御礼申し上げます。

年次に新型コロナウイルス感染症が国内発生、直後の短期収束待も空しく、秋には全世界的に第2、3波に晒され、いつ収束するの予想すらできない状況が続いております。

そんな中、東京鳩会では東京での大流行直前の令和2年2月22日に第37回総会懇親会を無事開催することが出来ました。当にギリパスでした。会員の皆様のご協力、ご支援は勿論、加えて東京に赤信号が灯り始めた時期にも関わらず、上京、ご出席頂いた赤地会長はじめご来賓の皆様への揺るぎない、ご意志、行動に励まされての開催であった事、改めて皆様には感謝申し上げます。

ワクチンや効果的な治療法が開発されるまで年単位の期間を要すると言われており、そろそろ「ニューノーマル」も受け入れ、自分事として「新しい生活様式」を容認しなければならぬ心境に至っております。取り敢えず2つの事に注目したいと

思います。

1つ目は無限の情報洪水の中、代表的なTV・NET情報に對して、新聞・本の情報を再認識しております。個々の事象は単なる断片に過ぎない情報も体系化・組織化を経た知識は判断の尺度を提供してくれます。

2つ目は長期のコロナ禍が続く中で企業や様々な所属組織において個人本位・個人重視へと行動変化しつつあり、それが居住地域重視・非接触型コミュニケーション・オンライン模索などの動きに繋がると言われており、創意工夫の発揮次第のようです。

個人本位で、無理なく・自然体での人の繋がりにへの希求が旺盛になると言えれば同窓会は代表格です。今後益々その有用性と存在が再認識されることと確信しております。

今後の会運営は例年ですと令和3年2月27日総会懇親会開催予定となるのですが、未だコロナ収束が見通せないため誠に残念ですが今年度の開催は中止とさせて頂きます。しかしながら会活動の継続を担保する「会報」は母校と会員の皆様のつなぎ手としての役割を果たし続けるべく、何としても中断することなく鳩会幹事一同、継続に全力を傾注して参ります。

会員の皆様には紙面充実・財政健全化、両面に亘り引き続きのご支援ご協力をお願い致します。おわりに会員の皆様の益々のご活躍とご家族共々のご健勝をお祈り申し上げます。

定期総会に代わり「オンライン対談」を開催しました

同窓会長 赤地憲一
(高校十七回生)



東京鳩会・重見憲明会長様はじめ会員皆様には、益々ご清祥の段、心よりお慶びを申し上げます。日頃は、母校屋代高校・附属中学校同窓会に對しまして、格別なご支援を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

まずは、令和2年の東京鳩会総会が、去る2月22日(土)、新型コロナウイルス感染症の大流行直前に開催されましたが、開催直前まで、コロナ情報の分析と直前まで、コロナ情報の分析と

直前まで、コロナ情報の分析と直前まで、コロナ情報の分析と

直前まで、コロナ情報の分析と直前まで、コロナ情報の分析と

直前まで、コロナ情報の分析と直前まで、コロナ情報の分析と

ました——厚生労働省職業安定局長の小林洋司様(高32回)、国立感染症研究所の松岡佐織様(高43回)、例年でしたら入学式で校歌をアカペラで歌っていた

だ、声楽家の丸山皓二様(高53回)、そして東大応援部主将から、今春、日本銀行に入行された宮下達朗様(高67回)のメッセージを併せて入学生にお届けいたしました。

今年度の定期総会は、同窓会史上初めて「総会を開く余裕がない時は、役員会が会務を議決する」(会則第9条)に従い、中止とし、代わって「オンライン対談」と銘打って、開催いたしました。この参加者は、東京鳩会の重見憲明会長はじめ3名の支部長と、4名の学年理事の計7名の皆様によるものでございました。感銘を受けたことは、

和田實理事(高2回、89歳)の旧制中学での懐旧談です……私が中学校に在籍した当時は戦争中で、全校生徒が勤労奉仕として食料生産、軍需工場、ダム建設現場等で働かされ、授業がなく休校でした。現在の生徒の皆様は登校停止でも、オンライン授業などで一部だけでも実施されているとのこと、恵まれた環境にあると思います。」

終わりにあたり、母校は3年後の令和5年(2023年)に創立100周年を迎えます。学校とPTA関係者との3者により準備委員会を去る5月に立ち上げ、「100年史編纂委員会」も同9月に発足させたところ

東京鳩会の皆様には一層のご

支援とご鞭撻のほどお願い申し上げますと共に、貴会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

学校長 高澤邦明



重見憲明会長様をはじめ東京鳩会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

コロナ禍の春三月には併設型中高一貫3期生を含む高2期生269名を送り出しました。卒業生は卒業生と教職員のみで執り行う異例のものとなりましたが、卒業生は粘り強く受験に立ち向かい、東大1、京大2、阪大1を始め、旧帝大の全てで合格(旧帝大11名)を勝ち取りました。そして4月、附属中学生80名、高校生282名の新入生を迎え今年度が始まりました。

4月5月の一斉臨時休校を経て、6月から通常授業を再開させました。一斉臨時休校中はICT機器を活用したオンライン学習に取り組みました。教員が動画やパワーポイントを利用するなど工夫を凝らし、生徒がパソコン上で意見を述べ合う授業や、事前にパソコンで配付された資料を活用する反転授業など、新

しいカタチの学びが取り組まれました。通常授業再開後は指導内容の不足を補うために、行事の精選を図り、授業時数を確保したことに、現時点では例年通りの授業進度まで回復することができました。大学入試センター試験が改訂された大学入試共通テストが今年度から始まりますが、しっかりと間に合わせる事ができました。

しいカタチの学びが取り組まれました。通常授業再開後は指導内容の不足を補うために、行事の精選を図り、授業時数を確保したことに、現時点では例年通りの授業進度まで回復することができました。

校是「質実剛健」のもと、真面目に授業を受け、問題練習に励み、学力を向上してきた屋高生。今回の新型コロナウイルス感染症は、否応なく「ICT機器の活用」と「学び方の変化」を要求してきました。指示待ちの受け身の学びでなく、自身の課題を俯瞰し、その解決に向けて自ら計画を立て主体的に取り組むという学び方の変化を要求してきたのです。ICT機器は新しい学び方の一つのアイテムとして欠かせないものとなっております。

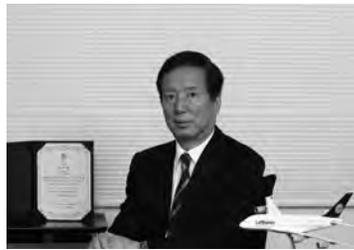
理科の課題研究を代表とする「探究的な学び」については、理科科生だけでなく、数年前から中高一貫生や選抜普通科生にも取り入れてきました。県下に先駆けて全校で取り組んできており、その成果が近年の大学進学実績に表れています。戸倉上山田温泉の活性化について探究した生徒、缶サット甲子園に挑んだ生徒、日本学生科学賞1等、3等を受賞した生徒、これらの生徒達は旧帝大、国立大医学部医学科や有名私立に進学しています。また、現在の3年生にも独自の探究活動を繰り広げ、た生徒達が受験を控えています。

理科の課題研究を代表とする「探究的な学び」については、理科科生だけでなく、数年前から中高一貫生や選抜普通科生にも取り入れてきました。県下に先駆けて全校で取り組んできており、その成果が近年の大学進学実績に表れています。戸倉上山田温泉の活性化について探究した生徒、缶サット甲子園に挑んだ生徒、日本学生科学賞1等、3等を受賞した生徒、これらの生徒達は旧帝大、国立大医学部医学科や有名私立に進学しています。また、現在の3年生にも独自の探究活動を繰り広げ、た生徒達が受験を控えています。

令和元年度 総会出席者名簿

(敬称略 50音順)

高1回	瀬在 幸安/戸矢崎 哲	同窓会会長 赤地 憲一
高5回	丑丸 昌明	学校 長 高澤 邦明
高7回	中澤 弘治/中條 良	同窓会副会長 長谷川はるみ
高8回	長岡 繁人/丸山 實	同窓会事務局長 徳永 次男
高9回	宮入 朗	
高9回	柿崎 正義/宮城 宏成	
高10回	山崎 裕一	
高10回	高野 正樹/松澤 修二	
高12回	相澤 正志	
高14回	中山 宣子	
高16回	田澤 秀知/二村 恒元	
高17回	宮本 光雄	
高17回	市川 清二/岡田 正夫	
高17回	春日常太郎/神津 修吉	
高18回	重見 憲明/滝沢 平治	
高18回	山本 強	
高18回	北川 正次	
高19回	勝沼 深/北沢 悦雄	
高19回	倉島 洋二/安川 信	
高20回	伊東 博道/水澤 恒男	
高20回	峯村 英治	
高21回	清水 勝/森 正明	
高22回	米村 道章	
高22回	高橋 修	
高34回	鷹取 梨恵	
高35回	梅原 由香/小山田 浩	
高41回	田辺美津子/森村たまき	
高41回	兒玉 孝子	
高45回	久保田裕一	
高55回	村松 頼信	



一般社団法人アサヒ国際文化交流協会
パンフレット掲載の写真

役に立ちました。入社した会社は海外への教育旅行が専門で、主な顧客は学校などの教育機関と海外視察など行う業界団体です。企画立案から手配、現地への同行などを主な業務として行いました。在職中の海外出張は300回近く、行った国の数は凡そ80カ国ほどになります。



ドイツ・デュッセルドルフ トーンハレコンサートホール指揮者マーシャル氏と打ち合わせ

その3年後には、欧州への旅が催行され、44名の先生方が参加、14日間に5カ国を回りました。その後、この旅は形を変え、地球上の様々な地域で地学や自然を学ぶことを目的に実施されました。例えばモロッコの砂漠で恐竜の足跡調査、ジンバブエのピクトリアの滝と野生動物観

察、西オーストラリアでは地球の酸素の起源ストロマトライト、アイスランドの火山、マダガスカルの原猿と針の山、ボルネオの世界最大の花ラフレシア、ブラジルのイグアスの滝とペルーなど普通の旅行では行かない場所が多く、自分にとっても得がたい経験となりました。参加された先生方は、探究心が旺盛で事前学習から報告書作成まで熱心に取り組み、さすが信州教育を担う先生方という思いを強くしました。

グローバル化の進展とともに、海外へ日本文化の紹介をする動きも盛んになり、2018年に一般社団法人を立ち上げました。音楽団体などの海外公演のお手伝いも行っていました。海外から日本に演奏旅行に来たいという希望も増えてきました。そこで2016年に第一回東京国際合唱祭を立ち上げ、以来定期的に実施して来ました。交流の場を通じてお互いを理解し、国際親善に寄与することを目的としています。

現在、一時的に中断を余儀なくされていますが、必ずやコロナに打ち勝ち、心と心が通じ合う交流の場の復活に向けて頑張る所存です。

出身地：千曲市、進路：中央大学、会社：アサヒトラベル インターナショナル
現在：一般社団法人 アサヒ国際文化交流協会
学級新聞は「燈台」
高校三十四回生 鷹取梨恵 (旧姓朝日)

「燈台」という名前の由来は、担任の宮原英夫先生が教壇で話をされる時に、つややかな顔とともに体を左右に動かし、「まるで船の安全を守り光る、燈台のようだ」とのことから、新聞のメンバーが命名したものである。卒業時に54号まで発行され、卒業後も号外が発行されていた。

新聞の内容は、好きな先生ラッキン、席替えの座席表、中間・期末試験の結果、戸隠への遠足の予算など様々であり、例えば高校三年の1981年6月11日第44号は「春季クラスマッチ 総合優勝成る」と、我がクラスの男子バレーボールが初優勝、軟式庭球が二度目の準優勝という嬉しい結果を伝えている。特に男子バレーボールの初優勝のラストシーンは感動的で、記事を読んだ時に当時体育館の二階ギャラリィで、同級生と共に涙した記憶が鮮やかに甦ってきた。

今読み返すと燈台新聞は様々な情報の共有と共に、「ベクトルがバラバラな組」と先生の先生に言われた三年四組を、大きくゆるやかにまとめてくれた大切なものであったと思う。この春、屋代高校での三年間「燈台」として我らを導いて下さった恩師・宮原英夫先生が永眠された。当時の私達を大らかに見守ってくださり、また時には厳しくご指導をいただいたことに感謝を申し上げます。心からご冥福をお祈りいたします。

さつた恩師・宮原英夫先生が永眠された。当時の私達を大らかに見守ってくださり、また時には厳しくご指導をいただいたことに感謝を申し上げます。心からご冥福をお祈りいたします。

そのような中で、令和2年2月22日に、初めての東京鳩会同窓会に参加しました。平成31年の同窓会にも参加予定でしたが、出張と重なってしまい参加できませんでした。どんな、方々が参加されているんだろう？ と、色々想像しながらの参加でした。結果は「行って良かった！」の一言に尽きます。なんと、私も若い世代の村松さんと意気投合、その後もSNSで繋がっています。今は、次回の飲み会を企画中です(これまで2回ほどチャレンジしたのですがコロナ禍でまだ実現できず)。そろそろ、Go To Eat キャンペーンを使って、会いましょうかね？

東京鳩会同窓会
初参加しました
高校四十五回生 久保田祐一
1933年(平成5年)に屋代高校を卒業後、関東の大学に進学、その後、目黒に支店を構えるドイツ系の医薬、化学メーカーに就職。思えば、25年近くの月日が経ってしまいました。その間に公私に亘り、様々な人生経験をさせてもらい、今もなお、日々新しいことに向き合っています。特に、仕事をしながらの子育ては、時間との闘いで、夫婦で力を合わせて、取り組んでいる一大プロジェクトです。子供たちの考えていることは、大人の想像をはるかに超えており、時々何を考えているのかわからず、悩むこともしばしば。ですが、子供達と分かり合えた瞬間は素直に「嬉しい！」の一言です。

私は、千曲市(旧上山田町)出身で、都内で弁護士をしております。
令和2年2月に初めて東京鳩会同窓会に参加させていただきました。普段、都内では同郷の方との接点は皆無に等しかったので、東京鳩会の諸先輩方とお近づきになることが叶い、誠に嬉しく楽しいひとときでした。懇親会の中では、そうした喜びに加え、特別な感慨が沸きました。それは、先輩方が長野を出て東京に根を張って活躍されていることへの畏敬の念です。私は、進学時に地元を飛び出して初めて、長野固有の県民性と地元の居心地の良さを痛感しました。これまで何度も帰郷

する誘惑に駆られました。「なにくそ」の精神で自分の気持ちと折り合いを付けながら、何とかここまで来たように思います。今回、諸先輩のお話を伺う中で、ひよつとしたら皆様も同じ思いの中で現在の地位を築いて来られたのではないかと感じ、深い尊敬の念と共に、誠に僥倖ながら、どこか戦友のような感覚を抱いた次第です。若輩者ではありますが、これからもぜひ東京鳩会同窓会に参加してまいりたいと思います。

東京鳩会 総務担当
伊東博道(高20)
港区赤坂三丁目二丁目二番三
☎03-3579-7751
大空法律事務所
弁護士
水澤恒男(高20)
港区赤坂三丁目二丁目二番三
☎03-3579-7751

東京鳩会 総務担当
高橋修(高22)
北区西が丘一丁目一丁目二番二
☎03-3479-1314
Email: oshikashi@earthnet.jp

東京鳩会 総務担当
神野明久(高29)
町田市大蔵町三丁目一丁目一
☎03-3747-0874
Email: kamuro@earthnet.jp

東京鳩会 総務担当
加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

株式会社 税務経理協会
シニアアキラ英治(高20)
エディター
新宿区下落合二丁目一丁目一
☎03-3393-3301

東京鳩会 広報担当
清水勝(高21)
江戸川区北葛西四丁目二丁目二番九
☎090-9976-1192

株式会社 テクノプラン
代表取締役 中沢安昭(高21)
新宿区新箱根六丁目二丁目二番五
☎03-3529-1062

代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

株式会社 カーネル
代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

株式会社 カーネル
代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

株式会社 カーネル
代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

東京鳩会ホームページ
東京鳩会のホームページにて、総会出欠の返事も出来ますので、下記アドレスにアクセスして下さい。そのほか皆様からの情報や投稿を随時お待ちしております。
またホームページ編集委員を募集しています。メールでご連絡下さい。
http://www.t-hato.jp
メール: info@t-hato.jp

令和2年度 東京鳩会総会中止
令和3年2月に予定していた東京鳩会総会・懇親会は新型コロナウイルス感染症の収束が見えない現況下、中止と致します。

代表取締役 赤澤光則(高22)
千代田区神田東松下町一丁目三番一
☎03-3556-1358

代表取締役 森 正明(高21)
目黒区緑が丘一丁目一丁目一
☎03-3645-9152

広告・寄付を募ります
東京鳩会運営に資するため年会費に加えて会員有志の方々からの寄付金を募っております。本会報への広告(1マス5,000円)も歓迎します。幹事までお申越し下さい。

倉島洋二様(高19)
菊池修治様(高19)

梅原由香(高35)
〒114-8501 東京都荒川区西日暮里一丁目一丁目一
☎03-3812-1111
Email: umehara@earthnet.jp

代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

代表取締役 加藤文男(高20)
川口市芝園二丁目二丁目二番一
☎048-124-1526

